

# 世界へ、関西へ、 関西電力が 貢献できること

現在、地球環境問題とエネルギーセキュリティが、人類の最重要課題になっています。先般のG8では、2050年までに温室効果ガス排出量の半減に向け検討していくことが合意されましたし、世界的なエネルギー争奪戦が激化しているのもご存じのとおりです。

いずれも大変難しい問題であり、一朝一夕で解決できるものではありませんが、当社は責任あるエネルギー事業者として、必要な技術開発を鋭意進めながら、できることから着実に実施しています。

現在、われわれが特に力を入れているのは、「原子力発電」と「エネルギーの効率的利用」の推進です。

原子力は発電時にCO<sub>2</sub>を発生しませんし、燃料のウランは、資源の地域的な偏在が少なく、政情の安定した地域でも多く産出されています。さらには、使用済み燃料を再度エネルギーとしてリサイクルすることもできます。このような多くの優れた特長から、世界的に原子力を見直す機運が高まっています。

現在、関西電力では、水力とあわせ、発電電力量の約7割が、CO<sub>2</sub>を発生しない電源で占められています。その結果、kWh当たりのCO<sub>2</sub>排出量は、わが国の電力会社の中で最も少なくなっています。

もちろん、原子力をはじめ、当社のすべての事業活動は、社会の皆さまのご理解に支えられています。社会の信頼をたまわるためにも、安全を最優先とし、安全の実績を積み重ねていきたいと思っています。

次にエネルギーの効率的な利用についてですが、すでに、わが国は主要国で最も効率化が進んでいます。さらなる向上をはかるため、われわれが最も力を入れているのは、ヒートポンプの開発・普及促進です。ヒートポンプとは、少ない動力でその何倍もの空気中の熱をくみあげて利用する技術のことで、エアコンや給湯器、洗濯乾燥機などですでに使われています。現在最も効率



森 詳介氏

Shosuke Mori

関西電力社長

のよい機器では、投入電力の6倍もの熱を利用することができます。仮に、皆さんがご家庭でお使いの空調や給湯器をすべてヒートポンプに換えると、京都議定書の民生部門の削減目標の1.5倍にも相当するCO<sub>2</sub>が削減可能との試算もあります。

それぞれのお客さまに最適なエネルギーの利用方法をご提案する活動も推進しています。マスコミなどでは、電気とガスの競争激化などと報道されることもありますが、われわれは、何が何でも電気とは思っていません。ガスを含め、環境にも優しいソリューションをご提案することで、社会の皆さまの快適な生活やビジネス活動を支え、ひいては関西の発展につなげることが、われわれの第一の責務だと思っています。

また、当社は、自治体と協力して企業誘致も積極的に行っています。地域の発展を望む気持ちは、関西に拠点を置く企業に共通しているのではないのでしょうか。こうした企業の思いや力を結集し、関西の発展につなげていくのが関経連の大切な役割だと思います。私も副会長として、下妻会長のもと、力を尽くしていきたいと考えています。

私が特に心がけたいのは、いろんな方の意見を聞くことです。どんなに良いことでも、自分に相談なく進められたら、人は横を向いてしまいがちです。反対に意見を求められたら、協力しようという気になるものです。関経連のような組織は、そうやって協力者を上手に増やしていくことが大切ではないのでしょうか。

談